

クリニックレター 2022年3月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック

TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

新型コロナウイルス感染症情報

医療従事者、高齢者接種に対する新型コロナウイルスワクチン接種が進む中、感染の様相、ワクチンの効果については、おおよそ次のようなことがわかってきています。

＃) オミクロン株に関しては、ワクチン2回接種者の中でも感染者が多く出ているが、ワクチン未接種者のほうが既接種者よりも入院率が8~9倍高くなっている。(NYのデータ) このことは、オミクロン株が弱毒性であるというよりも、ワクチン接種によって重症化を防いでいる、という可能性を示唆している。

* 新型コロナウイルス感染症は決して「ただの風邪」ではない!

＃) 高齢者においては、ブースター接種(3回目接種)により、オミクロン株の感染で入院するリスクを約90%減らす事ができる。

＃) ブースター接種による抗体産生量はファイザー製よりもモデルナ製のほうがやや高い傾向だが、副反応もモデルナ製でやや多く見られる。いずれにしても感染予防効果は十分にあるので、1回目2回の副反応を考慮して選択することがよいと思われる。

＃) 実効再生産数のピークは1月中旬で、現在(2月20日)は、兵庫県をはじめとして多くの県で実効再生産数が1以下になっている。

* 実効再生産数: “すでに感染が広がっている状況において、1人の感染者が次に平均で何人にうつすか”を示す指標。

吾道一以貫之: 一貫堂医学とは

東アジアの伝統医学の多くが中国伝統医学、特に15~16世紀の明時代の医学をその祖として発展してきたものであり、中国、ベトナム、韓国、日本などで、それぞれの特徴をもった医学体系を形成しています。また、特に日本においては、明治維新によって伝統医学(漢方)が医学教育の場で全否定され、その後約100年間は、ごく一部の医師や薬剤師が独自の活動を続けてきました^{注1)}。

この時期の日本の漢方には、「傷寒論」「金匱要略」など、漢時代(4-5世紀!)の医学をそのバックボーンとする「古方派」と、明時代の医学を中心にする「後世派」、その両者を用いる「折衷派」などの流れがあり、この「後世派」から生まれた医学に「一貫堂医学」があります。一貫堂の名の由来は、「吾道一以貫之」吾道は一にして以て之を貫けり、からきており、明治の漢方家、森道伯(1867-1931)とその一門によって発展した医学です。一貫堂医学の特徴は、人の体質を大きく三つに分類して治療の目安とすることから始まります。これが次にあげる三大証分類といわれるものです。

1) 瘀血証体質: 「瘀」とは「悪」につながり、「瘀血」とは非生理的な血液が体内に留滞することを言います。月経異常や動脈硬化、癌などとの関連があります。

- 2) 臑毒証体質: 「臑毒」とは、風毒・食毒・水毒などが体内に蓄積することを言い、現代で言う生活習慣病(高血圧症や高脂血症、糖尿病など)との関連があります。
- 3) 解毒証体質: 小児期では慢性扁桃腺炎、青年期ではアトピー性皮膚炎、壮年期では慢性前立腺炎など、慢性炎症性疾患と関連する体質で、当時は結核体質とも考えられていました。

この三大証分類は、患者さんの体質を見極め、治療するだけでなく、そこに至るまでの生活習慣や食習慣を考え、また、将来起こるであろう疾患を予想し、予防することにつながります。すなわち、「今、こういう症状でこういう病気だから治療しましょう」だけではなく、「今の症状に至るまでの自分を見つめなおし、それを变えることで、未来に起こるであろう病気(未病)を防ぎましょう」という発想なのです。

実は、森道伯は正式な医師免許を持った医師ではありませんでした。水戸藩士の家に生まれ、実父が戊辰戦争で罪に問われたため森家の養子となりましたが、その後罪を赦された実父の命により東京の某婦人科医の助手を務めながら漢方医学を学び、1906年に一貫堂療院を開きました。西洋医学の医師達から様々な弾圧を受ける中、1918年より全世界を襲ったスペイン風邪に対して独自の治療をおこない、その効果が世間に知れ渡るようになり、1930年にはついに宮家から治療を乞われたそうです。私の大師匠である中島随象先生(1898-1985)はこの森道伯一門であり、私が漢方を始めて学んだ兵庫県立東洋医学研究所の顧問を務めておられましたので、私の漢方は、この一貫堂医学の影響を大いに受けています。

今回は、一貫堂の三大体質についてさらに詳しく書く予定です。

注1) 漢方薬が保険制度の医療に導入されたのは1970年代になってからであり、大学での漢方教育が広く行われるようになったのは、2000年以降です。

* 森道伯(上)と中島随象(下)



コロナ後遺症に腸内細菌叢が関連している可能性

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の症状消失後も後遺症が続く、COVID-19 罹患後症候群(別名: ロング COVID)は、その症状として、①急性期の呼吸器症状、味覚嗅覚障害が長く続く。②COVID-19 の治癒後に、脱毛、記憶障害、睡眠障害、集中力低下などの症状が続く。③集中治療室での治療後に様々な身体障害や認知機能障害、精神障害をきたす。④心臓や脳への障害が残る。などが知られていますが、このロング COVID の患者では腸内細菌叢の多様性に乏しいという研究結果があります。日頃からバランスの良い食生活を心がけ、よい腸内環境を維持することが、COVID 罹患後の生活の質にも影響するという事です。

(MedicalTribune2022年2月17日号より)

休診のお知らせ

3月19日(土曜) 西本院長 3月29日(火曜) 水野医師

4月29日(土曜) 西本院長・田川医師 を休診とさせていただきます。

お車で来院される患者様へ

歩行者や近隣の方の迷惑になりますので、駐車場の指定されたスペース以外、及びクリニック周辺の道路には、駐車されないようにお願いします。駐車中のアイドリングもおやめください。駐車場に空きがない場合は周辺のコインパーキングをご利用ください。